

第 2 章 地形・地質・水文地質調査

第2章 地形・地質・水文地質調査

2.1 地形

2.1.1 地形概要

ソハール地域はハジャーラ (Hajar) 山脈の北部の東側に位置している (図 2.1)。調査地域の地形は、主に中～小起伏山地、丘陵地、扇状地・段丘域、沖積平坦面および海岸平野からなる。中～小起伏山地は地域の北西部および西部にやや小規模に分布している。本区域は標高 540m を最高峰に標高 350～500m であり、壮年期地形を呈し、主に斑レイ岩が露出している。特に、北西端部の中起伏山地は急峻であり、 30° を超える地形傾斜面が多く分布している (図 2.2)。

丘陵地は西部～中央部にかけて分布し、標高 105～508m の比較的なだらかな傾斜を呈している。当区域は主に玄武岩類、複合岩脈群等からなり、風化・浸食を受け、河川密度が比較的高くなっている。また、中央部の丘陵地内には孤立した造礁性石灰岩体の大小の残丘が分布し、特異な地形を形成している。 30° を超す急傾斜面は北西部の他にこれらの残丘の周辺に小規模に分布している (図 2.3)。

扇状地・段丘は南部～中央部のワジ・スーク川、ワジ・アル・ジジ川およびワジ・バニ・ウマール・アル・ガルビ川沿いに分布している。標高は 30～110m であり、扇状地状段丘面を呈し、段丘面は高位、中位、低位および沖積段丘面の 4 段が形成され、段丘面は殆ど砂礫からなる。高位段丘面は標高 100～320m で、主にワジ・アル・ジジ川およびワジ・スーク川に小規模に点在している。中位段丘面は標高 80～500m で、主に各ワジ (河川) に沿って大規模に分布し、東部の Magan 周辺まで延長している。低位段丘面は中位段丘面に沿って比較的細長く分布している。沖積段丘面は各ワジに沿って小規模であるが連続～断続的に分布している。

沖積平坦面は各河川の下流側に広大に分布し、平坦面の長さは 3～10km である。最下流側では各河川の沖積平坦面が合流し、連続した平坦面を形成している。上流側の平坦面は主に砂礫からなるが、下流側では主に細～粗砂からなる。

海岸平野は主に海岸砂丘からなり、海岸に沿って分布し、幅 0.5～2km を有する。標高 0～30m で砂丘の高さは 1～5m で比較的 low、延長性も少ない。ワジ・アル・ジジ川の河口では小規模な砂州が約 400m 河口から北西方向に伸びている。

2.1.2 ワジ・スーク川沿いの微地形

ワジ・スーク川はワジ (Wadi : 潤れ沢) であり、通年潤れ沢の状況で表流水はない。ワジ・スーク川の全流域を図 2.4 に示す。

ワジ・スーク川は河川長 34km であり、平均傾斜 0.008 (1:125)、最高海拔標高 275m、下流域のファラージ・アル・カバイル (Falaj al Qabail) で海拔標高 30m である。ワジ・スーク川の流域面積 71km² のうち、山地部は 29 km² を占め、上流域は河道が狭く、下流では緩やかで広い氾

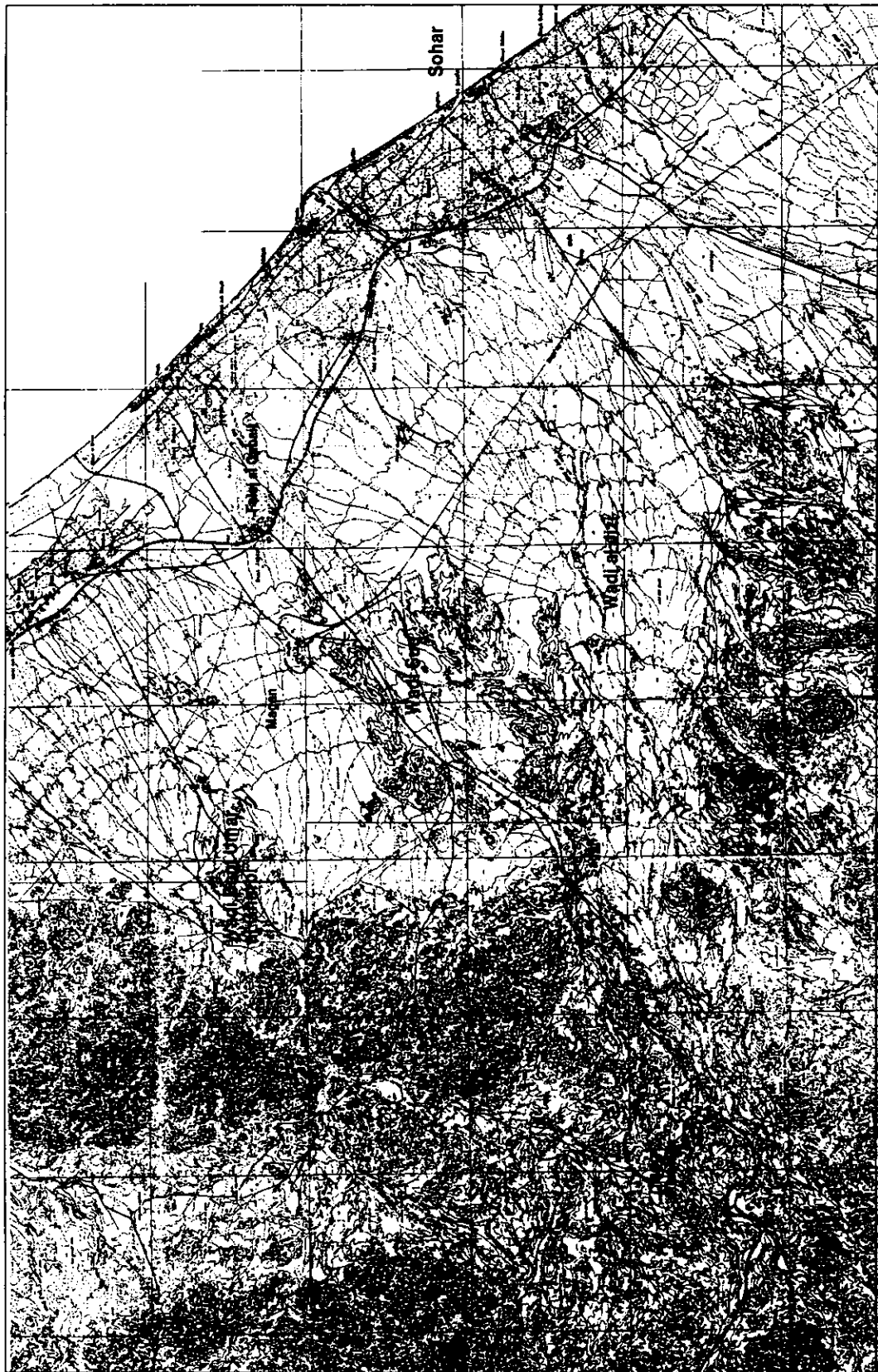


图 2.1 調查地域地形图

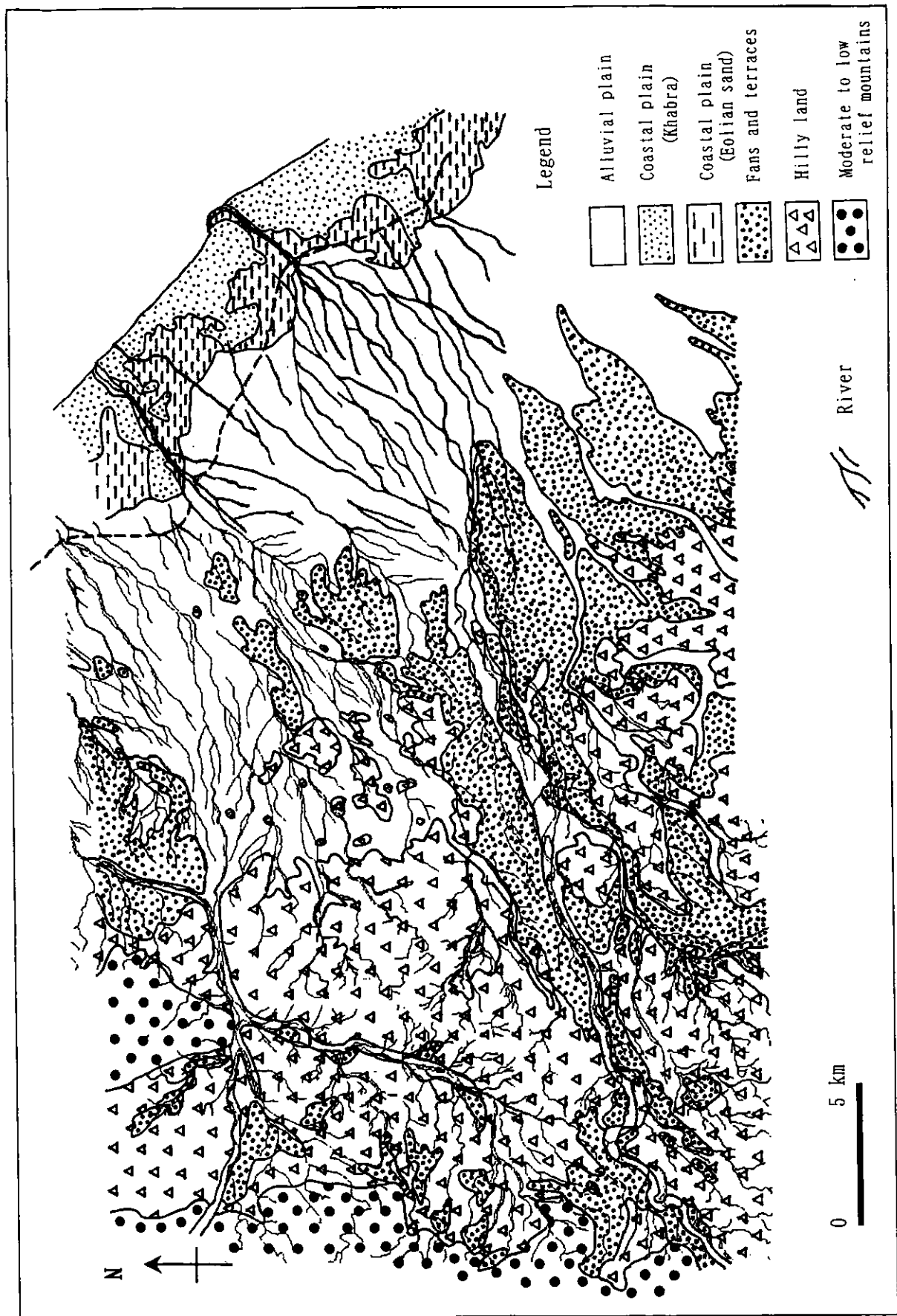


图 2.2 地形区分图

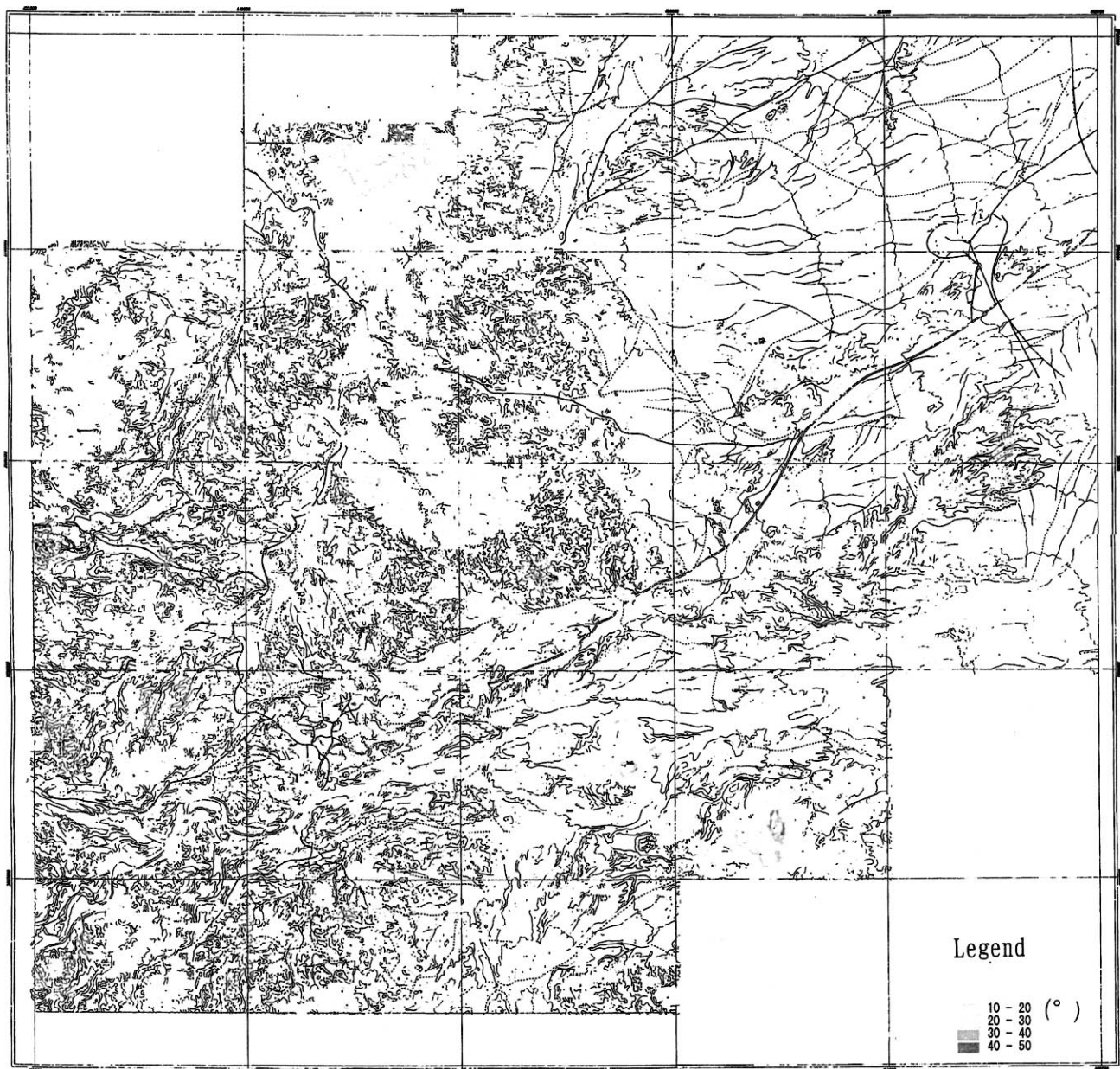


图 2.3 地形傾斜图

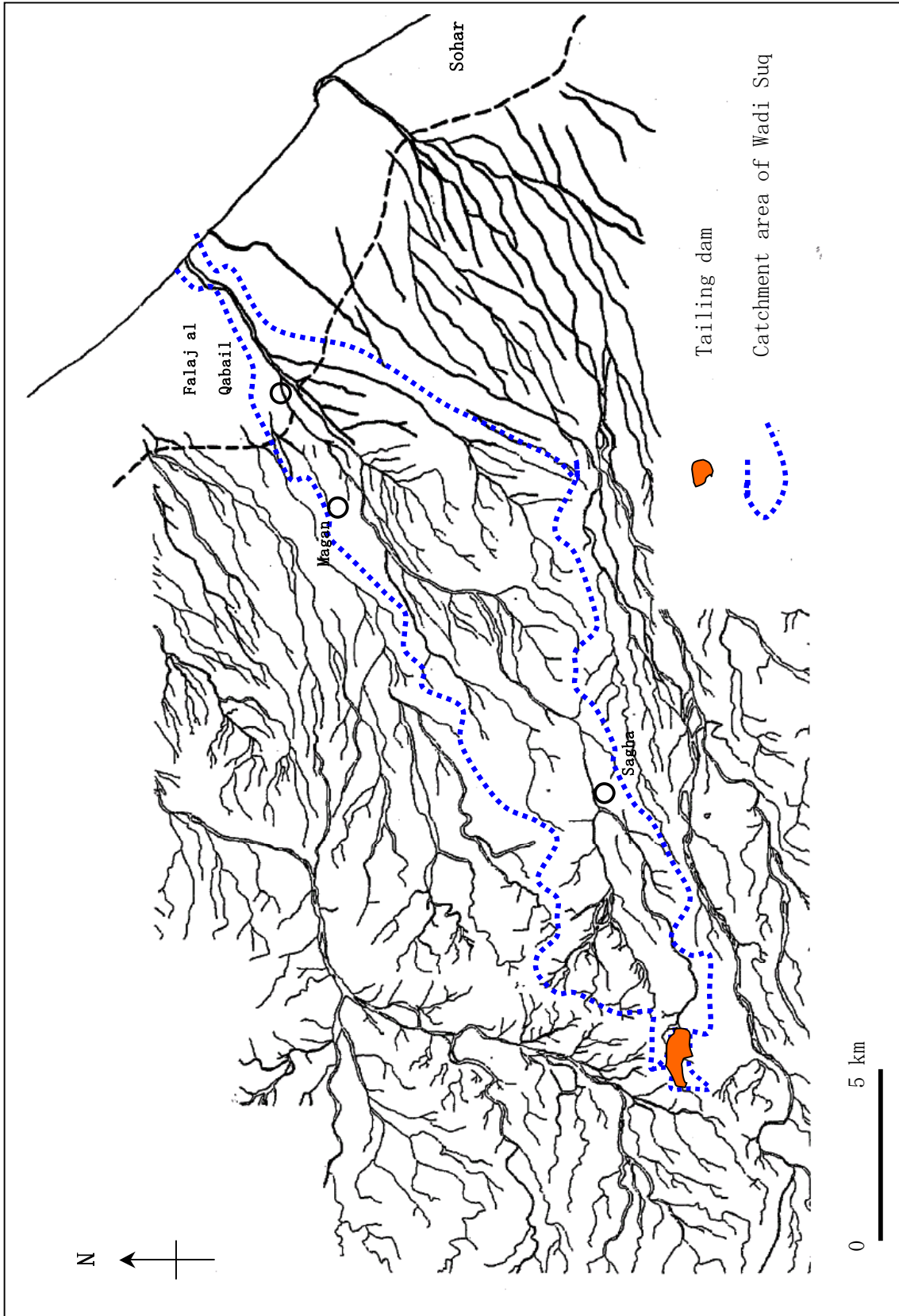


図 2.4 ワジ・スーク川の流域平面図